

令和4年9月末日

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

多久市立東原庁舎中央校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し、教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせします。

■調査期日

令和4年4月19日（火）

■調査の対象学年

第6学年児童 および 第9学年生徒

■調査の内容

(1) 教科に関する調査（国語・数学・算数・理科・質問紙）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活に置いて不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・算数の興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■調査結果及び考察について

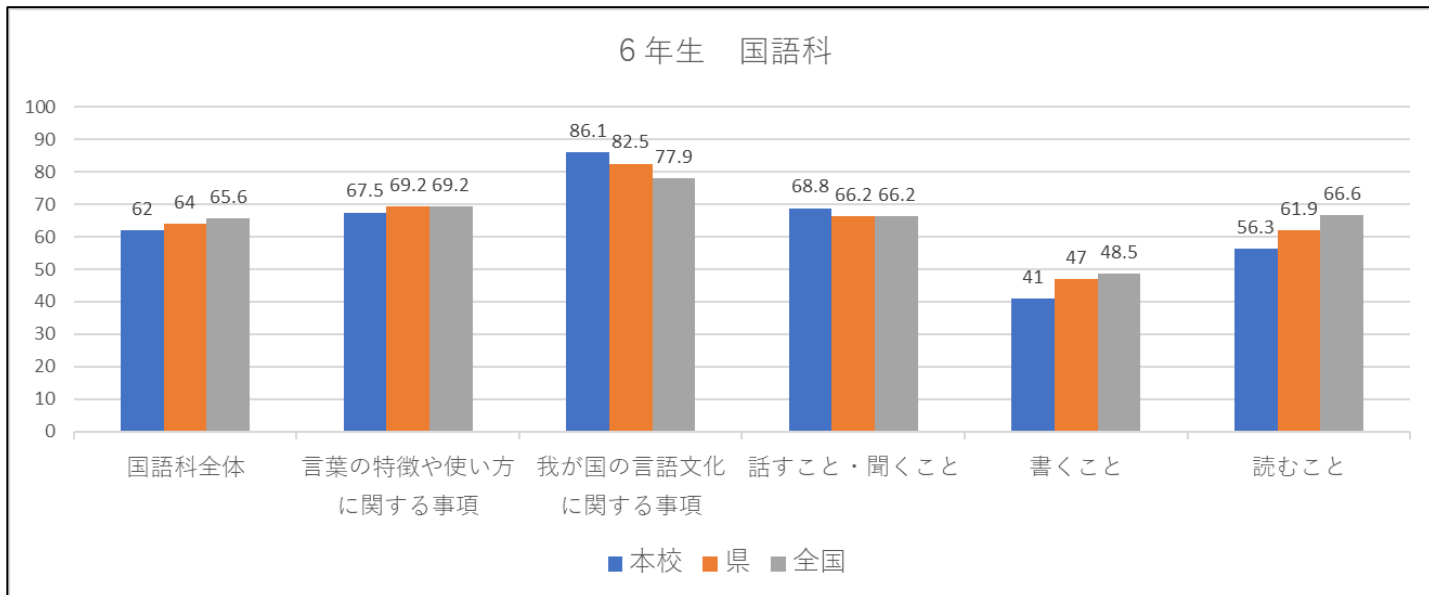
全国学力・学習状況調査は、第6学年・第9学年と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、理科に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野（問題）です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■調査結果及び考察

### 1. 6年国語科

#### (1) 結果

本校の国語科の平均正答率は62%で、県平均を2ポイント、全国平均を3.6ポイント下回る結果であった。県平均や全国平均よりもやや低い結果である。「我が国の言語文化に関する事項」と「話すこと・聞くこと」では、県平均、全国平均を上回った。一方、「書くこと」と「読むこと」は県平均、全国平均を下回った。



#### (2) 課題

「書くこと」では、県平均を6ポイント下回った。「書くこと」の中でも文章全体の構成や書き表し方に着目して文や文章を整える選択式の問題や文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよいところを見つける記述式の問題に課題が残った。

「読むこと」では、県平均を5.6ポイント下回った。「読むこと」の中でも叙述をもとに文学的文章の中の登場人物の心情を捉える問題や、文章表現の効果を考える問題に課題が残った。

#### (3) 学力向上のための取組

##### 【学校では】

書く力を高めるために、国語科を含めた全教科で書く活動を日常的に取り入れるようにします。キーワードや文字数などの条件に合わせた文章を書く経験も積み重ねる必要があります。また、児童にとって書きやすいテーマを設定し、テーマ作文を書かせるなど書き慣れていく必要もあります。

文学的文章の読解力を高めるために場面の变化や登場人物の心情の変化を意識して文章を読ませるような授業を仕組んでいく必要があります。出来事、言動、心情の3つのつながりを常に意識しながら読ませていくようにします。また、設問を注意深く読み、どの場面のどの登場人物の心情が問われているかを考えながら読ませるなど、文章問題に解き慣れさせていきます。

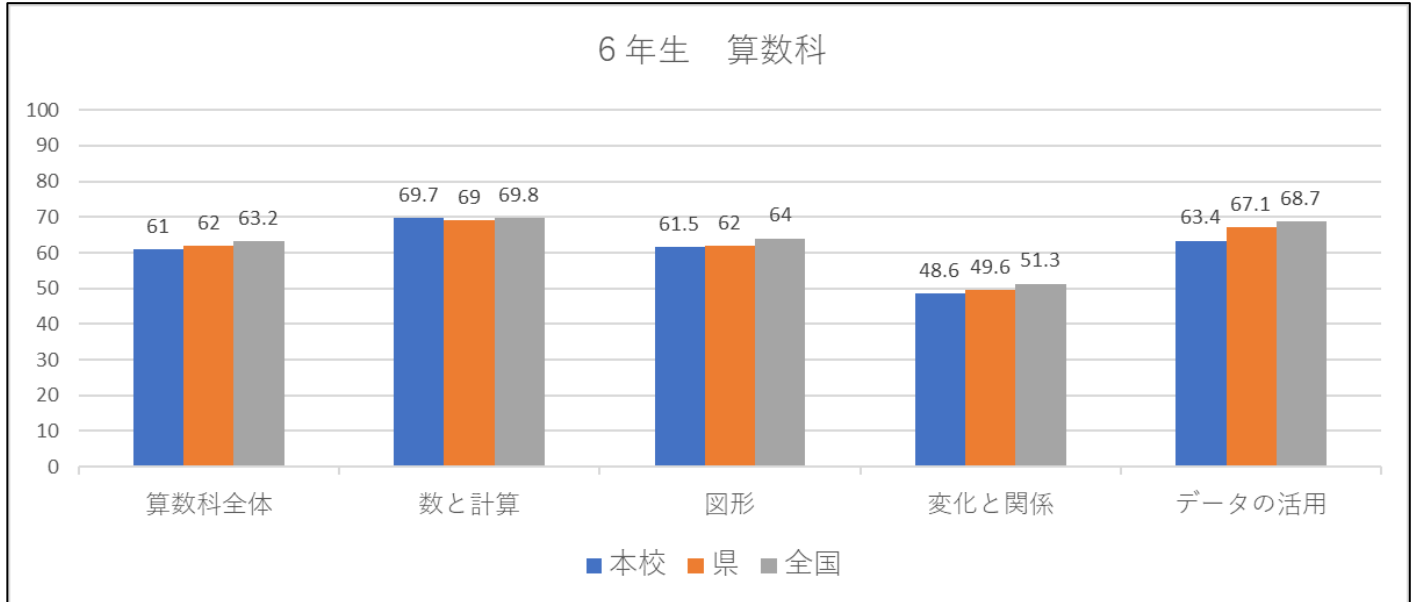
##### 【家庭では】

- 1日の中で読書の時間を確保したり、図書館や書店に出かけたりする機会を設けたり、本に親しむことができるような機会の設定をお願いします。

## 2. 6年算数科

### (1) 結果

本校の算数科の平均正答率は、61%で県平均を1ポイント、全国平均を2.2ポイント下回る結果であった。ほぼ県平均、全国平均並みという結果である。領域別では、「数と計算」と「図形」、「変化と関係」で県平均、全国平均並みである。一方、「データの活用」は、県平均に対して3.7ポイント、全国平均に対して5.3ポイント下回る結果であった。



### (2) 課題

どの領域もほぼ県平均並みであったが、「データの活用」は、県平均を3.4ポイント下回った。「データの活用」の問題の中でも特に表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目し、目的に応じてデータの特徴を捉え、考察する問題に課題がみられた。

### (3) 学力向上のための取組

#### 【学校では】

算数科は、内容の系統性が高く、既習の知識・技能をもとにより高度な内容に進んでいきます。授業の中で教えるべき内容と考えさせるべき内容を整理し、身に付けさせたい力に合わせて授業を実施していく必要があります。特に基礎的・基本的な知識や計算の技能は日々の積み重ねで力を伸ばしていくことができます。授業と家庭学習をうまくリンクさせながら児童に力を付けるようにしていきたい。

「データの活用」の問題を克服するために表から分かることを読み取ったり、文章に書き表したりしていく必要があります。2つの量の変化を読み取ったり分かったことを言語化したりする学習活動を取り入れていきます。

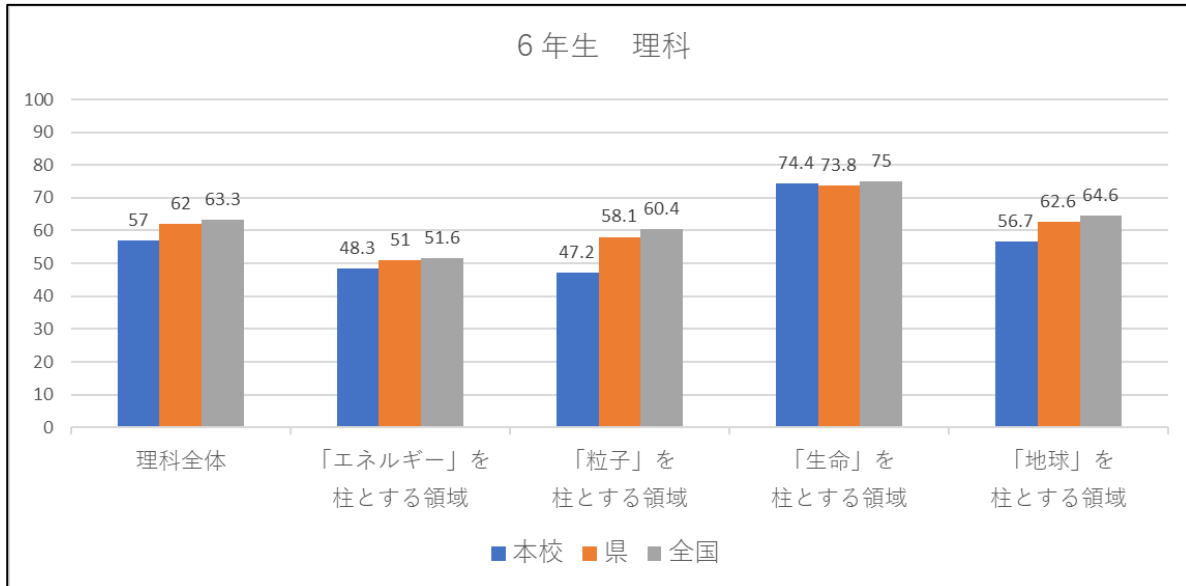
#### 【家庭では】

- 日々の学習内容を定着させるために算数プリントや計算ドリルなどの宿題を出しています。お子様の家庭学習の取り組みを見ていただければと思います。

### 3 6年理科

#### (1) 結果

本校の理科の平均正答率は、57%で県平均を5ポイント、全国平均を6.3ポイント下回る結果であった。県平均、全国平均を大きく下回る結果である。領域別においても「生命を柱とする領域」では、県平均並みであったが、その他の領域においては、県平均、全国平均を下回る結果であった。特に「粒子」を柱とする領域では、県平均に対して10.9ポイント、全国平均に対して13.2ポイント下回る結果となった。



#### (2) 課題

県平均、全国平均を下回る結果であった「粒子」を柱とする領域では、適切な操作技能に関する問題の知識の定着に課題が見られた。特に自分で発想した予想と、実験結果を基に、問題に対するまとめを検討したり、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題解決までの道筋を構想したりする問いにおいて課題が見られた。

#### (3) 学力向上のため取組

理科では、「問題を見出す力」「予想や仮説を発想する力」「解決方法を発想する力」といった資質・能力の育成が目指されている。授業の中でも、「疑問を持つ」「自分なりに予想や根拠を立てる」「学習したことを使って説明しようとしてみる」といった力を鍛えていけるように、授業の過程を組み立てていく。

##### 【学校では】

- 実験器具の名称や正しい扱い方の定着に向けて、実験方法を検討する場面においてどの器具を使うことが適切かを考える時間を設けたり、グループ同士で検討させたりしていきます。
- 自然事象から得られる問題に対する個人の予想を立てる時間を設けるとともに、その予想であれば、どのような結果が得られるのか、個人やグループで考え、実験に臨むようにします。
- 観察・実験などにおいて事実を捉える際に、写真や動画として結果を保存させ、考察する際に、再度その情報に立ち返ることで、結果を基に自分の考えを出させやすくします。

##### 【家庭では】

- 理科に興味をもてるように科学に関する話題を家庭で話していただければと思います。
- タブレットドリルでの家庭学習を出すようにしますので、お子さんが取り組みやすいもの、取り組んでみたいものに取り組ませていただければと思います。

#### 4 生活習慣や学習習慣に関する調査（6年）

##### (1) 結果 「児童質問紙」から分析した本校児童の傾向 特徴的な項目を抜粋

調査の項目	本校	県	全国
(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。【2時間以上の割合】	70.8↑	50.5	50.2
(7) 自分には、よいところがあると思いますか。	83.5↑	78.7	79.3
(9) 将来の夢や目標を持っていますか。	73.6↓	80.4	79.8
(13) 学校に行くのは楽しいと思いますか。	94.5↑	84.1	85.4
(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	59.7↓	69.5	71.1

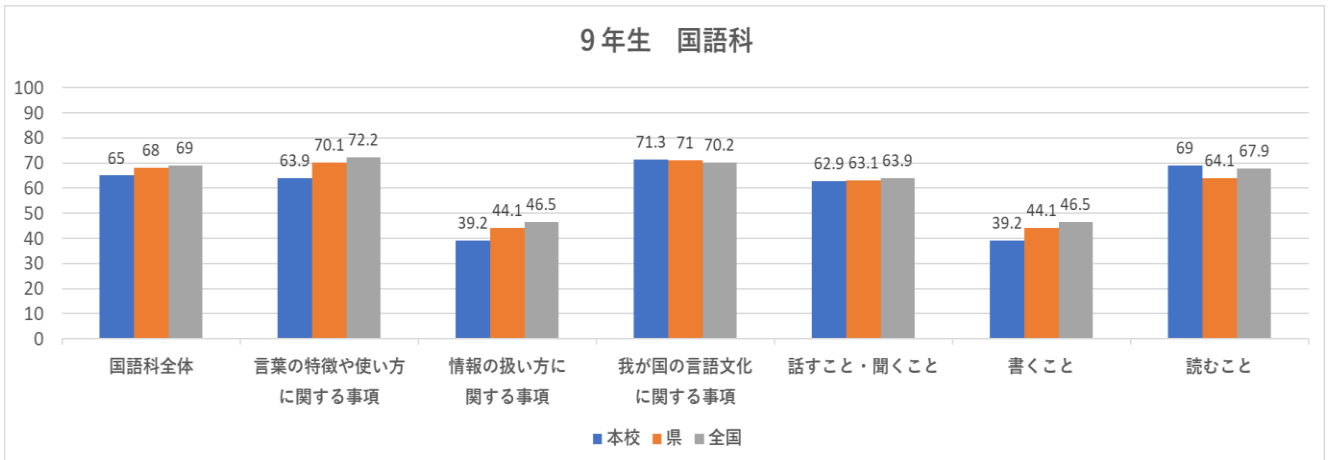
##### (2)改善に向けての取組

- 平日にテレビゲームや携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを2時間以上する児童の割合が県平均、全国平均と比べると20ポイントも高くなっています。ゲームをすること自体を否定することはできませんが、ゲームの時間を学習やスポーツ、その他の遊びに変えていくような取組の必要性を感じています。学校では、情報モラル教室や道徳の学習を通してゲームが及ぼす影響について指導しています。ご家庭でもゲームに関するルールをお子様と決めていただき、生活を見直していただければと思います。
- 「学校に行くのが楽しい」と回答した児童が、県平均よりも約10ポイント、「自分にはよいところがある」と回答した児童が、県平均よりも約5ポイント高くなっています。学習や日々の生活、友だちとの関わりなどを楽しむことができ、自分のよさに気づくことができている児童が多い状態です。一方で、将来の夢や目標をもっていると回答した児童は、県平均に対して6ポイントほど低くなっています。これまで同様、子ども達の自己肯定感を高めていけるように前向きな言葉をかけ続けます。また、小学生の時期は、様々な夢に思いを巡らせたり大きな目標を立てたりする時期です。私たち大人は、子どもの夢の応援団だという意識をもって指導していければと思います。
- 「家で計画的に学習している」という問いに肯定的に回答した児童が、県平均に対して約10ポイント下回っています。学校では、単元末テストを予告し、テストに向けての宿題や自主学習など子どもたちに見通しをもたせ、興味や関心に応じた宿題を出すようにしています。家庭での生活を見直し、学習に向かう時間を設けていただければと思います。

## ■調査及び考察〔第9学年生徒〕

### 1 国語

#### (1) 結果



全体として全国平均を4ポイント、県平均を3ポイント下回る結果となった。領域別に見ると、「我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」において、全国・県平均を上回った。また、県平均との差が大きかった領域は「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」であった。

#### (2) 課題

「言葉の特徴や使い方に関する事項」に関連して、意見文の下書きの一部について文末の表現を書き直す問題では、県平均との差が大きかった。助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことに課題が見られた。また、文章中の表現の技法を答える問題で正答率が低かった。

「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」の2つの領域に関連して、資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きに書き加える問題で、正答率が低かった。自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られた。

#### (3) 学力向上のための取組

##### 【学校では】

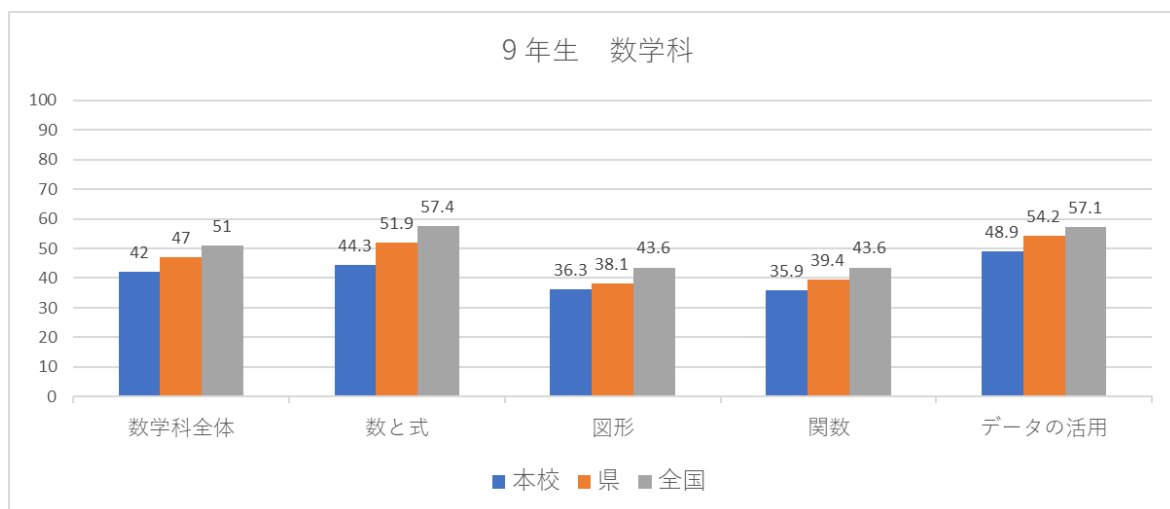
- 語彙を増やすとともに、表現の技法に着目して読んだり、助詞・助動詞の正しい使い方を意識して話したり書いたりすることができるよう指導します。
- 必要な情報を資料から選択して引用するなど、根拠を明らかにして自分の考えを書くことができるよう指導します。

##### 【ご家庭では】

- 1日の中で読書の時間を確保したり、図書館や書店に出かける機会を設けたり、本に親しむことができるような機会の設定をお願いします。
- 情報の扱い方に着目してニュース番組を見て、家族で疑問や感想を述べあうなど、情報を得るだけでなく自分の考えをもつ習慣がつくようお声かけをお願いします。

## 2 数学

### (1) 結果



全体として全国平均を9ポイント、県平均を5ポイント下回る結果となった。「図形」と「関数」の正答率が低かった。県平均との差が大きかった領域は「数と式」と「データの活用」であった。「数と式」「図形」「関数」の領域で記述式の問題の無回答率が高かった。

### (2) 課題

「数と式」の領域で、2を素因数分解する問題や連立二元一次方程式を解く問題など、基礎的な知識の習得に課題があった。また、式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明するような、基礎的な知識を活用した問題が解けていなかった。

「図形」の領域で、筋道を立てて考え事柄が成り立つ理由を説明する問題や、「データの活用」の領域で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題に課題が見られた。

### (3) 学力向上のための取組

#### 【学校では】

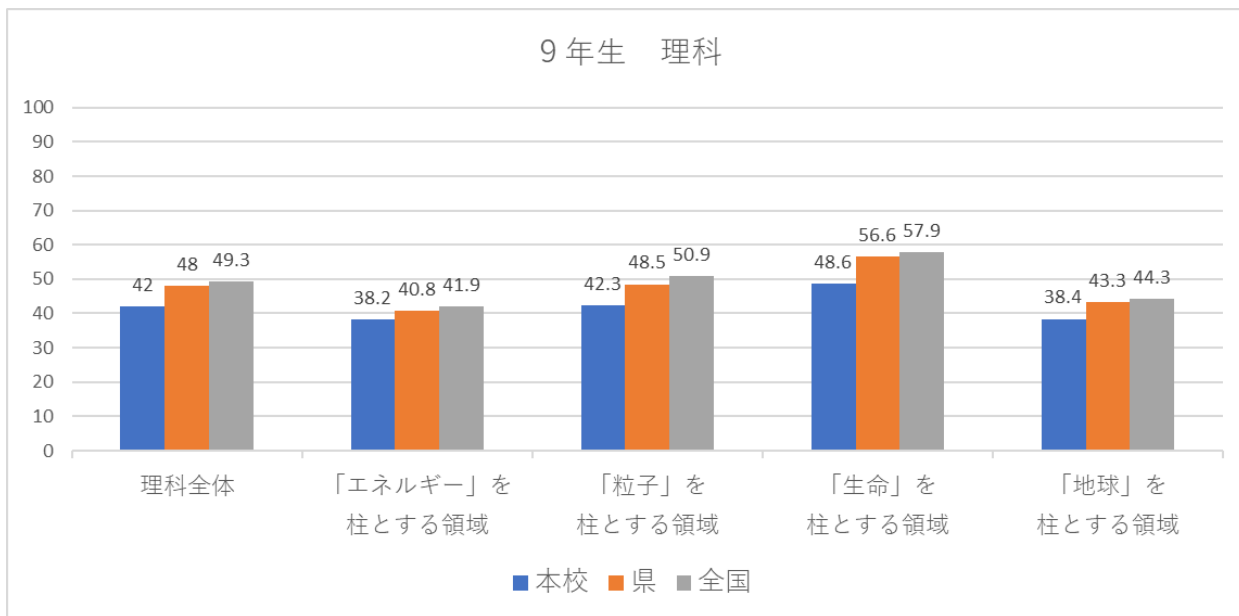
- 日常的に、基礎的なものから発展的なものまでの段階を考慮しながら授業を行います。特に数学で必要になる計算の技能は、授業の中で小テストとして確認をしたり、学び合いの中で友達と教え合ったりしながら基礎の定着を目指します。
- 学び合いの中で問題を解ける喜びを感じさせたり、多様な考えに気付かせたりして意欲的に問題に取り組もうとする姿勢を育てていながら、自分の考えを表現できるようにしていきます。

#### 【ご家庭では】

- 数学は数に対する感覚を育むことが大切です。学校から出た課題には必ず家庭学習として取り組むとともに、計算ドリルの問題を自学ノートに解くようにお声かけをお願いいたします。
- 学校では授業の中で行った小テストにおいては、自分が間違えたところを必ず書き直して確認・定着をするように指導しています。分からない問題は授業のノートやファイルを見たりしながら粘り強く取り組むようお声かけをお願いします。

### 3 理科

#### (1) 結果



全体として全国平均を7ポイント、県平均を6ポイント下回る結果となった。『『エネルギー』を柱とする領域』は選択式の問題は県平均を上回ったが、記述式の問題の無回答率が高かった。県平均との差が大きかった領域は『『粒子』を柱とする領域』と『『生命』を柱とする領域』であった。

#### (2) 課題

『『粒子』を柱とする領域』では、水素を燃料として使う場合の水の質の変化についての問題や、液体が気体に状態変化することによって温度が下がる現象についての問題に課題が見られた。

『『生命』を柱とする領域』では、脊椎動物の骨格について共通点と相違点を分析して解釈する問題や、アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果から、考察を記述する問題に課題が見られた。

『『エネルギー』を柱とする領域』では、考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する問題に課題が見られた。

#### (3) 学力向上のための取組

##### 【学校では】

- 「身近なところに理科の現象がある」ということに気付かせるために、理科ニュースを発行し、日常生活から理科の現象とのつながりを見つけるように指導していきます。
- 自分の考えを表現する力を養うために、実験結果をしっかりと整理して、多様な視点から考察をしたり学び合ったりする時間を十分に確保していきます。

##### 【ご家庭では】

- 理科に関する興味をもたせるために、テレビのニュースや新聞などの科学のニュースを見たり、話題にしたりするようにお願いします。
- 学力向上のために、基本的な用語を覚えることは欠かせません。学校で実施する小テストに向けて、自学ノートなどに繰り返し書くなど、定着するようにお声かけをお願いいたします。



### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果 「生徒質問紙」から分析した本校生徒の傾向 (質問項目 全 69 問)

調査の項目	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」など、肯定的に回答した生徒の割合	本校	県	全国
(4) 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか		64.6 ↓	66.0	69.5
(5) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む)をしますか【2時間以上の割合】		59.6 ↑	49.7	50.3
(6) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習やゲームをする時間は除く)【2時間以上の割合】		50.7	47.6	52.0
(7) 自分にはよいところがあると思いますか		83.5 ↑	76.6	78.5
(9) 将来の夢や目標を持っていますか		51.9 ↓	66.6	67.3
(16) 学校に行くのは楽しいと思いますか		95.0 ↑	82.5	82.9
(17) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか		68.4 ↓	77.8	76.9
(20) 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)		58.2	55.2	58.5
(21) 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか(学習塾やインターネットを活用して学ぶ時間も含む)【2時間以上の割合】		27.9 ↓	23.7	35.2
(22) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか【2時間以上の割合】		31.7 ↓	35.4	44.9
(32) 1、2年生の時に受けた授業で、コンピューターなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか		55.7 ↑	31.1	50.9
(40) 1、2年生の時に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか		54.4 ↓	68.0	67.4
(47) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力することを決めて取り組んでいましたか。		69.7 ↓	74.2	71.7
(48) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか		92.4 ↑	86.5	85.5

(矢印↑↓は県・全国平均との比較)

#### (2) 改善に向けての取組

##### 【学校では】

- 授業や学級活動で、自分と違う意見に触れたり、学んだことを生かしながら考えを広げたりできるように指導します。
- 総合学習や学級活動で、将来の夢や目標について考える時間を増やし、将来の見通しをもって学校生活ができるよう指導します。

##### 【ご家庭では】

- 「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」の項目に肯定的に回答していることなどよい点を取り上げ、引き続きお子さんの支援をよろしく願いいたします。
- 普段から携帯電話やスマートフォンやコンピュータを2時間以上使っている割合が高いので、使い方について、ご家庭毎に約束を確認していただくようお願いいたします。